

兵庫県保険医協会尼崎支部第52回総会

市民公開講演会 参加費無料

脳卒中！！ どう防ぐ？ どう治す？

日時 7月29日(土)

会場 尼崎市中小企業センター4階

(尼崎市昭和通2-6-68 阪神尼崎駅から徒歩5分 玉江橋渡って東側すぐ)

総会議事 14:30 ~ 403 会議室

市民公開講演会 15:00 ~ 402 会議室 ※事前にお申込みください

講師 (尼崎市) つだ内科・脳神経内科 院長 津田 健吉 先生

『脳卒中』という病気は日本で死因の第4位、介護が必要となる病気の第2位を占めるとも怖い病気です。『脳卒中』には、「脳梗塞」や「脳出血」、「くも膜下出血」などがあります。なんらかの後遺症が残ることもとても多いため、原因となる『生活習慣病』を予防、治療することにより、起こさないようにすることが大切です。

もし『脳卒中』になった時、早期に発見し治療することで後遺症を軽減させることもわかってきています。また『脳卒中』の治療法は内科的治療や外科的治療、リハビリテーションなど近年進歩しています。

『脳卒中』はどう予防するのか？ 早期に発見するにはどうするのか？ もしなつたときはどう治療するのか？ お話します。【津田 記】

お問い合わせは、兵庫県保険医協会尼崎支部担当事務局 沖野・石本 TEL/078-393-1805 まで

fax 078-393-1802(切り放さずご返信ください) **尼崎支部第52回総会 (7/29)**

■総会議事 (14:30~14:55) をつけてご返信ください

ご出席 ご欠席 (□議事の一切を議長に委任します)

■市民公開講演会 (15:00~17:00) 出席 (人)

■懇親会 (17:10~) ご出席

※会場 尼崎市中小企業センター1階レストラン「マキ」 参加費無料

医療機関名() ご芳名 ()

TEL(- -) FAX(- -)

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

432号

2023年6月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第103回 医療と福祉を考える会 感想文

“死”を恐れずに向き合い 命を輝かせる



講師を務めた大前隆仁先生(写真左)と
塩川ゆり看護師(写真右)
「その人らしさ」を大切にしたい在宅緩和ケアの
取り組みを学ぶ参加者(写真中央)



尼崎支部は5月20日、第103回医療と福祉を考える会「多職種でのぞむ在宅緩和ケア」を開催。尼崎市・おおまえホームケアクリニック院長の大前隆仁先生と在宅看護専門看護師の塩川ゆり氏が講演し、医師・歯科医師・看護師・施設職員など35人が参加した。大前先生は、緩和ケア概論からアドバンスケアプランニングまで幅広く丁寧に解説した。参加者の感想を紹介する。

自院のお向かいで、この度クリニックをご継承された大前先生がご講演をなさると伺い、参加させていただきました。前院長の大石先生が、長年たくさんの患者さんの在宅主治医をなさって奔走されているお姿を拝見して参りまして、頭の下がる思いでございました。このいい機会に両先生のお仕事について勉強させていただきたく思いました。

ご講演では、大前先生と看護師の塩川様から在宅緩和ケアの概要をお教えいただきました。2時間以上にわたって丁寧に講義いただき、講師の先生方の熱意とお志の高さを感じ入りました。

(2面へつづく)

(1面からのつづき)

緩和ケアは、医療技術や知識の研鑽のみならず、全人的な能力を必要とすることがわかりました。患者、家族の社会的背景を踏まえ、患者の刻々と変わる病状とその心情に、チームを統一させて終始寄り添っていくには、皆様の多くの努力を要することを学びました。



健康保険証の廃止中止を求める署名の協力を呼びかける綿谷茂樹支部長



司会を務めた長谷川吉昭副支部長

また、患者本人とその周りの家族、治療者、介護者皆が「死」に対し恐れず向き合っていくことが、かえって本人の残された貴重な命を輝かせると教えていただきました。

私のような呑気な皮膚科の開業医の仕事は緩和ケアとは全く対局にありますが、日々の患者さんとの向き合い方について色々気付かせていただき、学びの多いひと時となりました。

お世話になりました先生方と保険医協会の方々に心よりお礼申し上げます。

【伊藤皮フ科 伊藤往子】

兵庫県保険医協会 評議員・予備評議員(医科)選挙の公示

兵庫県保険医協会 理事長 西山 裕康

協会規約第31条の2および協会役員等選出規定の第3条の2により、評議員・予備評議員(医科)選挙の公示を行います。

兵庫県保険医協会規約 第32条

1. 評議員は、本会の方針に沿い、各支部又は歯科部会の活動の中心となる。
2. 評議員は各支部又は歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。
3. 予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】2年

【改選日時】7月29日(土)午後2時30分

会場：尼崎市中小企業センター 403会議室 尼崎支部第52回総会

【立候補日時締切】7月22日(土)正午

【立候補届出の方法】立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。なお、歯科については歯科部会で選出します。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員選挙の公示

兵庫県保険医協会尼崎支部 支部長 綿谷茂樹

協会規約第75条および協会役員等選出規定の第3条の3により、尼崎支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】支部長 1名 副支部長 若干名 幹事 若干名 【任期】2年

【改選日時】7月29日(土)午後2時30分

会場：尼崎市中小企業センター 403会議室 尼崎支部第52回総会

【立候補日時締切】7月22日(土)正午

【立候補届出の方法】立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。用紙をお届けします。「立候補届」に必要事項を記入の上、事務局へ持参または郵送ください。

「18歳まで」無料に 署名スタート

尼崎市長に対し18歳までの医療費無料を求める署名のスタート集会在5月13日、尼崎市内で開催され、40人が参加した。協会尼崎支部も加入する「18歳までの医療費無料を求める会」が主催したもの。



高原周治支部幹事が講演

スタート集会では、支部幹事の高原周治先生(高原クリニック)が「18歳までの医療費無料を実現するために」と題して講演。高原先生は、兵庫県でも全国でも18歳までの無料化が大きく広がっていること、先進国の中で日本の窓口負担は突出して高額であること、無料にすることで人口減に歯止めがかかった自治体の事例などを紹介。「病気になるれば心配なので医療機関に診てもらいたいというのは当然のこと。お金の心配なくいつでも受診できるようにしましょう。昨秋当選した松本真市長は、18歳までの無料化を公約に掲げており、市民の大きな声があれば実現できます」と呼びかけた。

参加者からは、「財源を理由に無料化に否定的な議員もいる。高原先生が指摘されたように署名を集めて市長を後押ししよう」「子育て世代の市外への転出が増えている。子どもたちが走り回り、にぎやかで活力ある尼崎市をめざしたい」などの意見が出され、7月末までに目標2万筆をやり遂げることを確認した。

5月末に署名用紙をお届けしています。

尼崎市在住でない方にも署名いただけます。署名用紙のご注文は協会事務局(☎078-393-1809)石本・沖野まで

〈署名にご協力いただいた会員の声〉

医院スタッフが自分たちで家族の分まで署名をとって40筆集まりました。みんな松本市長の公約を知っているから、まだまだ署名は集められそうです!!

【橋村歯科医院 橋村孝次】

— 第588回幹事会だより —

5月20日(土) 於：さくら

- 尼崎支部の会員数 5/1現在 医科378人、歯科168人
- 医療をめぐる情勢と運動対策、支部企画

会員拡大・勤務医対策、今後の支部企画として支部総会、記念講演、役員改選、医科歯科連携研究会、接遇研修会について討議した。医療と福祉を考える会「多職種でのぞむ在宅緩和ケア」に35人が参加し、参加者アンケートの声を紹介し意見交流した。「18歳までの医療費無料を求める会」が取り組む署名を支部で取り組むこと、会員へ発送し協力を求めることを確認した。